



12月

12月の園だより

2025年度

真愛幼稚園

12月の 聖書のことば

「 その名はインマヌエルと呼ばれる 」

(マタイ福音書 1 章 23 節)

主 題 知らせよう

- ・クリスマスの意味を知る。
- ・神さまの愛を知る。
- ・誰かのために祈る。

さんびか
う た

「おほしがひかる」 「とおくのひがしから」
ばら： 「クリスマスのうたがきこえてくるよ」
たんぽぽ：「赤鼻のトナカイ」 もも：「あわてんぼうのサンタクロース」

12月の主な予定

1日（月）	体育あそび 身体測定（もも・すみれ）
2日（火）	身体測定（たんぽぽ）
3日（水）	身体測定（ばら）
5日（金）	12月誕生会
18日（木）	午前保育
19日（金）	クリスマス会
22日（月）	2学期終了式・午前保育
23日－24日	個人面談・写真販売
1月7日（水）	預り開始
1月8日（木）	3学期始業式・もちつき 午前保育
1月16日	ボールであそぼう
1月19日	環境劇

※急きよ予定の変更、延期・中止となることもあります。ご了承ください。

3学期の主な予定

1月13日	避難訓練・地震
1月21日	英語であそぼう
1月23日	1月誕生会
1月26日	お茶教室
2月6日	2月誕生会
2月13日	午前保育
2月14日	大きくなった感謝祭
2月16日	振替休園日
2月26日	大きくなったお茶会
2月27日	おわかれ遠足
3月6日	3月誕生会
3月13日	卒園式
3月19日	3学期終業式

12月たんじょうのおともだち

7日 わさだ めい さん 6さい

17日 ちえん きょうや くん 5さい

25日 いわた あいこ さん 6さい

12月の保育料について

- ・保育料 無償化の為保育料はありません。
 - ・保護者会々費 600円
 - ・施設費 (在園児毎月 550円)、(新入園児毎月 1,600円)
 - ・バス代 4000円(片道 2000円)
 - ・給食費 12月分(11回、しんあい給食1回 計12回)
 - ・月刊おおぞら 480円(年長のみ)
 - ・卒園アルバム積立 500円(年長のみ)
 - ・スマックレンタル 200円
- ★暖房費は1月に 2000円引き落とします。
★12月の引き落としは12月5日(金)となります。

★預かり希望の方は事務所に用意している申込用紙に記入して連絡帳に挟んで担任に渡してください。または事務所にお持ちください。緊急性のない場合の当日預かりはお引き受けできない場合があります。

★冬休みの間の預かりを希望の方は事務所に用意している申込用紙に記入をお願いします。

12月予定より

★2026年度幼稚園案内と願書を配布しています

封筒に入れていますので、知り合いの方にお配りください。



★5日(金)12月度誕生会

12月誕生児の保護者は10時25分までに幼稚園から入って礼拝堂にてお待ちください。10時30分より誕生礼拝と誕生会を行います。昼食は各クラスに分かれて、保護者の方も一緒に召し上がっていただきます。

★28日(金)よりアドベント礼拝が始まります。

キリスト教では今年11月30日(日)よりアドベントが始まります。アドベント(待降節)は救い主が神さまのところからこの世に送られるのを、希望を持って待つという意味で、12月25日(水)のクリスマス前日(24日)までがアドベントの期間です。正確には当時のユダヤ教は日没から1日が始まりますので、現代に直すと12月24日の日没からクリスマスになります。そういうえばクリスマス物語も夜中の場面が多いことに気づきます。ページェントの場面も夜の場面が多いことに気づきます。だからクリスマスプレゼントも25日に目を覚ますとプレゼントが置いてあるのも、神さまからの大きなプレゼント(救い主を通して喜びと希望を人に贈ってくれた)に対する喜び

の表現になります。クリスマスの本来の意味である笑顔と平和が広がる日となるように願いを込められた日がクリスマスです。24日の夜にキャンドルライト・サービスが行われたり、アドベントの礼拝ごとに1本ずつろうそくの灯が増えていくのもそのためです。ちなみに「きよしこの夜」は聖夜（12月24日の日没）にしか歌われないのでですが、日本では毎日どこかで耳にします。

アドベント1 預言者の灯り（希望を意味する）

アドベント2 天使の灯り（平和を意味する）

アドベント3 羊飼いの灯り（喜びを意味する）

アドベント4 ベツレヘムの灯り（愛を意味する）



アドベントのろうそくの明かりの意味がすべて含まれているのがイエス・キリストの降誕物語です。マタイ福音書とルカ福音書を合わせて作られた世界で最初のクリスマス物語を題材にした劇をページェントと呼んでいます。今年の幼稚園のクリスマス会もページェントを行う予定です。

☆幼稚園主催行事の前日は午前保育となります

入園式、運動会、クリスマス会、大きくなった感謝祭、卒園式など大きな幼稚園行事の前日は午前保育となります。ご理解とご協力をお願いします。

☆クリスマス献金について

幼稚園では毎年「クリスマス献金」をささげます。献金はクリスマスの喜びを共に分かち合うためにささげます。ご家庭でもクリスマスまでの間、クリスマス献金をささげてください。

「おうちで おてつだいしました」「なかよく すごせました」「いたいの がまんして なかなかったよ」「ようちえんで たくさん あそんだよ」「ごはん ぜんぶ たべたよ」「じぶんで なんでも できるよ」など、うれしかったこと、楽しかったこと、小さな成功体験への感謝を献金という形で子どもたちと一緒にいれてください。

子どもたちはそれぞれ献金箱を作りました。世界でたひとつつの献金箱を持ち帰ります。クリスマス会まで毎日少しづつ、献金箱に感謝を積み重ねていってください。12月19日のクリスマス会に献金箱を持って来てください。今年も平和園、栄光園、マイク・ア・ウイッシュ・オブ・ジャパンなどにささげていきたいと思います。

※その年に応じて献金先を変更となる場合もあります。献金の報告は園だより2月号にてお知らせいたします。



☆19日（金）クリスマス会（全園児・すみれ・保護者）

18日（木）は準備のため午前保育です。

19日は9時30分よりクリスマス礼拝・祝会が始まります。

★現時点では参観者の規制はありませんが、座席数に限りがありますので譲り合ってください。

★今回真ん中周辺に「撮影コーナー」を設けます。各クラスのプログラムに応じて保護者の方は撮影場所を譲り合ってください。

★バスの送迎はありません。子どもと一緒に9時15分までに登園してください。

★園服の下は体操服上下でお願いします。またタイツではなく靴下でお願いします。

★絵本バッグに持ち帰っている献金箱、水筒を持って来てください。

★感染症拡大の際には保護者の制限、延期、中止もあり得ますのでご了承ください。

★園庭が駐車場になります。また公会堂のご厚意により、午前中のみ駐車できます。

☆冬休みの預かり保育について

12月27日（土）～1月6日（火）まで休園日となります。預かりは12月23、24、25、26、1月7日が長期の休みとなります。3学期は1月8日（木）から通常の預かりとなります。冬休み預かり希望の方は別紙申込用紙に記入して提出してください。

☆23日・24日 個人面談・写真販売について

23日・24日の10時～15時に子どもの成長過程や園の様子について、時間の制限がありますが個人面談を行います。特に途中入園・新入園の保護者の方はお忙しいとは思いますが、時間を作ってください。12月8日までに第1～第3希望日と時間をおたより帳でお知らせください。調整後におたよりでお知らせします。

☆1月8日（木）3学期始業式ともちつき（全園児・すみれ）

バスの送迎はあります。午前保育です。9日が弁当日で、13日から給食となります。

始業式の時にトイレットペーパー1巻、ティッシュペーパー1箱、ぞうきん1枚を持たせてください。それ以外はいつもの用意（絵本バッグ、うわぐつ、コップ、はぶらし、タオル）に名前を書いて持たせてください。

この日に「もちつき体験」をします。子どもたちも保護者も搗いて、触れて、伸ばしてをしたもののは感触を楽しむために。保護者の方も一緒にもちつきをして少しずつ味見程度にふるまいります。今回も「搗き手」「こね手」「丸め手」を募集します。未経験者も大歓迎！もちつきで交流を深めながら、楽しく元気に過ごす1年の初めにしましょう。

お手伝いいただける方はおたよりに参加者の名前を書いてください。



別府教会よりおしらせ

☆教会学校クリスマス会（12月14日・日13時～15時）

礼拝（献金があります）、祝会（参加費1人200円、0～2歳無料）

グループに分かれてケーキ作り、ウルトラビンゴ大会など

☆クリスマス記念合同礼拝（12月21日・日10時30分～11時40分）

クリスマスを教会で過ごしてみませんか。礼拝献金があります。

☆キャンドルライト・サービス（12月24日・火18時～19時）

ろうそくやライトの灯りの中で、イエス・キリストの降誕の喜びを賛美礼拝で行います。

耳にしたことのあるクリスマスの讃美歌をみんなで歌います。



「世界で最初のクリスマス」

世界で最初のクリスマスは聖書の物語となっています。イエスの降誕物語と言われています。この物語はマタイ福音書の星に導かれた外国の占星術の学者たちがイエスに会いに行く物語と、ルカ福音書の御使いに導かれた羊飼いたちが馬小屋に生まれた幼子に会いに行く物語を合わせて「降誕物語」ととなっています。いずれの舞台も「夜」です。暗闇に神さまからの贈り物として希望の光が輝くことを意味しています。

イエスが生まれたとき、東方の占星術の学者たちが、星に導かれてやってきました。そしてユダヤの王（この世の救い主としての絶対的な王）として生まれたイエスに、黄金、乳香、没薬（もつやく）を贈り物としてささげました。

この占星術の学者たちは、ギリシア語でマゴイと書かれています。これは東方の聖職者や占星術師、魔術師を意味します。ここからラテン語でマギ（マジックの語源となっている）と呼ばれるようになりました。伝承では、彼らは異教の国の賢者の代表とされています。6世紀ごろ東方の占星術の学者は異国の王とされ、10世紀になるとカスパー、メルキオール、バルタザールという名前が付けられました。15世紀には、彼らは肌の色から三大陸から来たと考えられるようになり、キリスト教が世



界に広がるのに人種も文化も国も考え方も超えて多様性にあることを伝えるようになります。

カスパールはキリストの神性を意味する乳香を、
メルキオールはキリストの王権を意味する黄金を、
バルタザールはキリストの苦しみと死と復活を意味する没薬をささげました。

乳香は樹脂の塊で、香水の原料にもなったそうです。没薬はミルラとも呼ばれ、植物性のゴム樹脂で、死者の防腐剤として使われたそうです。

マタイ福音書では東方の占星術の学者を導く「星」が重要な役割を果たしているのがわかると思います。星と言えば・・・クリスマスツリーの一番上に飾るあれです！クリスマスツリーの星は別名「ベツレヘムの星」とも呼ばれています。東方の学者や羊飼いをイエスが生まれた馬小屋に案内したあの星です。そして、クリスマスツリーの下に飾るプレゼントは学者からの贈り物を表しています。何気なく飾っているクリスマスツリーにも意味があることを絵本を通していろいろな角度から焦点を当てたクリスマスの物語を、家族で楽しんでみてください。

ルカ福音書では夜に寝ないで番をしている羊飼いと、天使ガブリエルを中心に物語は進んでいきます。登場するすべてのものがそれぞれ「主役」です。毎年焦点をどこにあててクリスマスにするのかも楽しみの一つです。マリアも、ヨセフも、羊飼いも、天使も、東方の占星術の学者も、宿屋の主人も、ユダヤの王や家来たちも、羊や馬やろばや牛たちも、そしてみんなを導く「星」も、人知れず静かな夜でさえも、神さまは大きな喜びをこっそり人々にプレゼントしたのです。イエス・キリストをこの世に贈ってくれた神さまに感謝の礼拝をささげる。これがクリスマス（キリスト・ミサ：救い主を礼拝する）の意味になります。

「クリスマスのてんし」

（エルゼ・ヴェンツ・ヴィエトール作・絵、

さいとうひさこ訳、徳間書店）

10人の小さな天使が舞い降りて誰かのためにちょっとお手伝い。大切な人に贈りたくなる素敵な絵本です。



「クリスマスの12日」

（エミリー・ボーラム作、わしづなつえ訳、福音館書店）

英国の有名なクリスマスキヤロルのひとつとして知られる重ね歌“The Twelve Days Of Christmas”を邦訳した絵本。

もともとクリスマスの期間は降誕節（12月26日から1月6日まで）の12日間をさすもので、この期間中、昔は毎日いろいろな行事がありました。その中でも1月5日から6日にあた



る12夜は、もっとも盛大なお祭り騒ぎのパーティが開かれた夜。この夜に行われたゲームのひとつとして、この歌が伝えられています。お祭り気分を高揚させる明るく愉快なイラストは、見ているだけでも楽しめます。歌詞の一部が絵で表され、ゲーム的要素もたっぷり。全部覚えて歌えるかな？メロディーもリズムも陽気で、英国のクリスマス気分が満喫できる一冊です。

（園長 庄司 宜充）